

さんネット通信

第1号

2018 春夏

2018年度から千葉県中核地域生活支援センター事業を受託させて頂きました、特定非営利活動法人リンクの吉井です。

私は、山武地域で日々仕事と日常生活を営んでいる中で、常に感じていたことがありました。1つ目は、山武地域は社会資源が少ないと云われ続けているが、「ない」と言っているだけで、具体的な実践ができていないこと。2つ目は、地域福祉を中心とした各分野の福祉や医療・保健・教育・司法などの様々な分野の繋がりや連携を考えてみたいと思った事です。

当法人は、この2つの思いをカタチにするため、①地域のニーズに応える地域づくり、②地域福祉の観点から、「生活のしづらさ」を抱えた人たちへの支援、③地域生活者を中心とした多分野連携が図れるネットワークづくり④地域住民にとって活用しやすい総合的な相談支援体制づくりを活動の中心に置き、中核地域生活支援センター事業やその他の事業を行っていきます。

昨年度まで事業を受託されていた社会福祉法人ワナーホーム様の、中核地域生活支援センター事業(さんぶエリアネット)における様々な活動を継承させて頂き、私たちは、山武の地域で求められている役割を常に考え、各市町に根差した活動に努めてまいります。

皆様におかれましては、事業へのご理解と今後のご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。



特定非営利活動法人リンク 理事長

中核地域生活支援センターさんネット センター長 吉井 稔

職員の紹介

赤堀久里子 (地域総合コーディネーター)

この度、ご縁あって、山武圏域で活動をさせて頂きたくてなりました。これから出会う、たくさんの方のお力をいただき、皆様のお役に立てるよう職員と共に頑張ります!!どうぞ、よろしくお願いいたします。

石田由理 (グループホーム等支援ワーカー)

4月からグループホーム等支援ワーカーになりました石田です。今まで高齢者介護をしていました。皆さんのお役に立てるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

須藤幸代 (コーディネーター)

毎日の仕事も生活も元気に楽しく過ごすことを心掛けています。今年にあわてず騒がずゆっくりと仕事を確実にこなせるようになりたいです。初心を忘れずみなさんの心にそえるようがんばります。よろしくお願い致します!

押尾和子 (コーディネーター)

4月より、さんネットにお世話になっております。まだまだ未熟なので、スタッフの皆さんと一緒に、気軽に相談できるように、心がけたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

堀江有紀 (事務兼コーディネーター)

皆さんと職員との連携がスムーズに行えるように、一つ一つ丁寧な対応を心がけていきます。よろしくお願い致します。

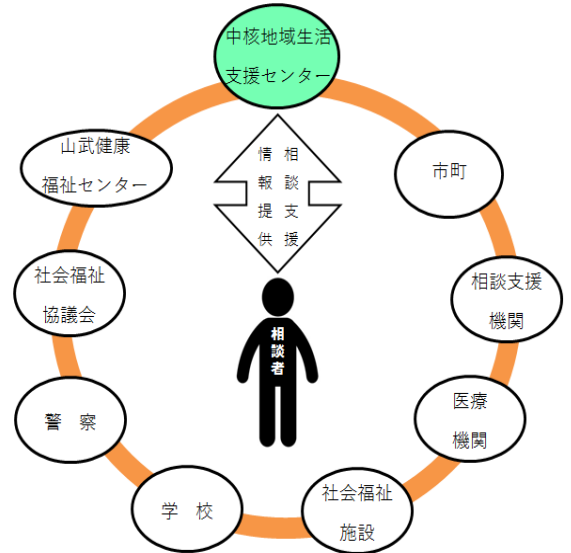


【中核地域生活支援センター さんネット】

さんネットは、多様な相談に対して 24 時間 365 日体制で総合的な対応を行う地域福祉のセーフティネットとして一人一人の相談内容に応じ、多機関と連携したり、個々に寄り添った支援を行います。

活動内容

- ◆ 包括的相談支援事業
- ◆ 地域総合コーディネート事業
- ◆ 市町村等バックアップ事業
- ◆ 権利擁護事業



主な事例

～家族のこと、対人関係のことで悩んでいる～ 引きこもり支援を一緒に考えました。

80 歳代の両親から 50 歳代男性について相談。20 歳代より自宅に引きこもり。そのきっかけは、職場での人間関係。さんネットでは、定期的な訪問を行い、本人との信頼関係を構築しながら、少しずつ、外出の機会等を設け、本人の「眠れない」との訴えに対して一緒に受診同行しました。また、高齢の両親は、疾患のため、日常生活に介護が必要な状態であったため、地域包括支援センター等と連携を図りながら、この家族全体を支えています。

～お金や生活費がなく困っている～ 生活困窮者自立支援制度を活用しました。

40 歳代女性。体調不良を理由に 1 年前に離職。就職活動をするもなかなか仕事が見つからず、家賃の支払いに困っていました。さんネットでは、自立相談支援機関と連携し、就労支援と住居確保給付金等の各種制度の活用をしながら生活再建を進めています。

また、「食」に困っている場合は、フードバンクを活用します。

～福祉制度の内容や利用の仕方が分かりません～ 役所等の窓口へ行き、一緒に手続きをすすめました。

20 歳代男性。精神的な疾患のため、家事や受診など、一人で行うことができず、困っていました。行政の窓口で、継続した通院ができるよう「自立支援医療」や「障害福祉サービス」の申請や計画相談（相談支援専門員）の利用の手続きを一緒に行うことで、本人が安心して生活できる環境を整えることができました。

～山武地域の社会資源を教えてください～

自立支援協議会や連絡調整会議を通じて、関係機関との連携を密にしました。

【グループホーム等支援ワーカーについて】

障害者グループホーム等支援事業とは、千葉県が健康福祉センター(保健所)の圏域毎に支援ワーカーを設置し、障害者のグループホーム・生活ホーム(=グループホーム等)に関する様々な相談にのり、支援を行う事業です。

グループホームとは、平成 25 年 4 月 1 日に施行された障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)を根拠法とする、2 人～10 人の方が住める住宅のことです。生活ホームとは、障害者生活ホーム設置運営要綱(平成 20 年 8 月 1 日)に定められている、地域で生活することを望む知的障害者、精神障害者及び身体障害者の自立生活を促進するために必要な援助等を行う障害者生活ホームのことです。

障害者グループホーム等支援ワーカーは、千葉県単独の委託事業であり、千葉県グループホーム等支援事業に基づき、県内の保健福祉圏域 13 圏域(千葉・船橋市・柏市を除く)ごとに配置されています。空きがあるホームの紹介や、入居に関する利用者様やそのご家族の不安の聞き取り、ホームの新規開設の相談支援、グループホームに関する情報収集し、グループホーム制度の普及・啓発を行います。

障害者の住まいの一つの選択肢であるグループホームを、より暮らしやすく、地域に根ざした生活の場にするという仕事もあります。グループホームはその方にとっての「家」です。その生活を支援できるよう、住みよい環境作りに努めていきます。

Q. グループホームの入居を考えているがどうしたらよいですか？

Q. グループホームの開設を考えていますが手続きを教えてくださいませんか？

Q. グループホームの空きはありますか？

Q. グループホームのケアの質の向上のための研修を考えています。講座などお願いできますか

連絡調整会議

日時：6月11日(月)
13:00～15:00
場所：山武健康福祉センター
(東金市東金 907-1)

内容：「中高年の引きこもりを考える」「山武圏域における不登校児童と支援の現状と取組」など

高齢者部会研修会

あなたらしく生きるために
「終活」を学ぶ
日時：6月27日(水)
13:30～15:30
場所：山武健康福祉センター
(東金市東金 907-1)

内容：相続、遺言、後見・任意後見の基礎と実務など

児童部会

(子育てミニ集会)
日時：5/28、8/27、
11/26
場所：さんネット
(山武市富田ト 748)
内容：子育ての不安や子ども・親支援の悩みなど
詳しくはさんネットまでお問い合わせください。

中核地域生活支援センター大会 in 2018

社会の変容と家族のカタチ～多様な『つながり』を考える～

今あらためて家族の変化と望まれる社会的支援のあり方を捉え、家族だけに頼らない新たな「つながり」を見出していきたいと考えています。現状をふまえながら、誰もが排除されない地域づくりを一緒に考えていきましょう。

●内 容：問題提起『家族の変容と望まれる社会的支援のあり方』

講師：湯澤直美氏（立教大学教授）

報告『中核地域生活支援センター活動白書 2017』

シンポジウム『「家族」って何だろう？～さまざまな「つながり」の可能性～』

<シンポジスト>

フランク・オカンボスさん(児童家庭支援センターファミリーセンターピオラ)

宮間恵美子さん(松戸市役所 高齢者支援課 課長)

上井 ハルカさん(レインボー千葉の会)

●日 時：平成 30 年 7 月 21 日（土）10：00～16：00

●会 場：千葉市生涯学習センター 2 階ホール ●定員：300 名 ●参加費：1,000 円

●申し込み：Mail または FAX にて 7 月 13 日（金）までにいちほら福祉ネットへお申し込み下さい。

いちほら福祉ネット TEL 0436-23-5300 FAX 0436-23-5225

E-mail ichihara_f.net@bh.wakwak.com



中核地域生活支援センター【千葉県委託事業】

さんネット

〒289-1321 千葉県山武市富田ト 748

電 話 0475-77-7531

F A X 0475-77-7538

E-mail sun.net@npo-link.jp

ホームページ <https://npo-link.jp/>

